

東部土木登米地域だより

第11号

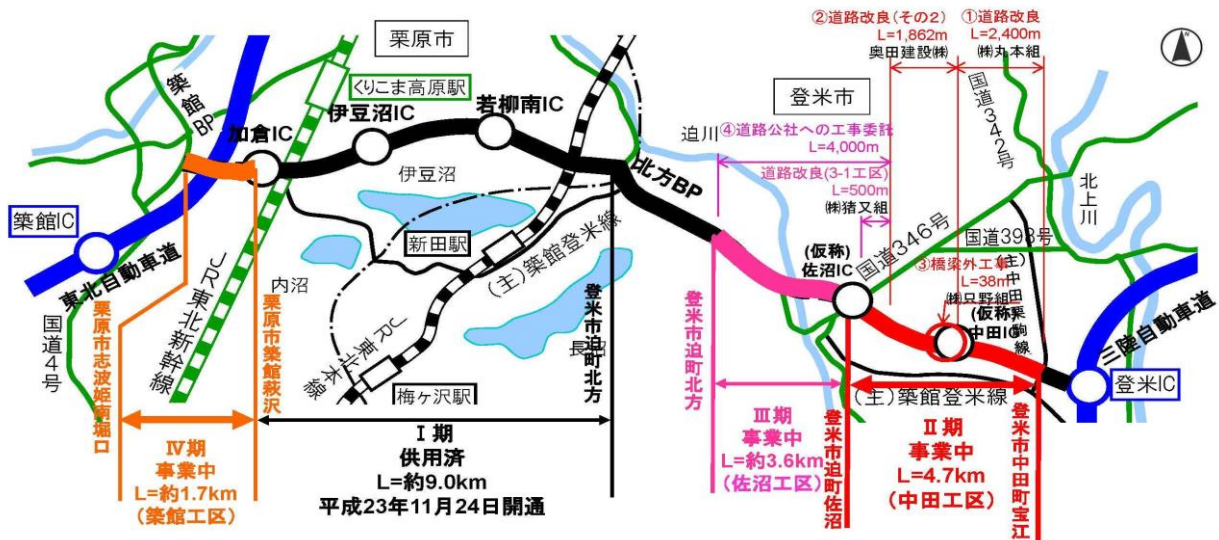
平成27年12月25日発行

宮城県東部土木事務所登米地域事務所

みやぎ県北高速幹線道路（復興支援道路）

～ 事業の状況 ～

みやぎ県北高速幹線道路は、県北部で東北縦貫自動車道と三陸沿岸道を東西に結ぶ地域高規格道路です。当事務所は、Ⅱ期（中田工区）とⅢ期（佐沼工区）を担当しており、現在は、Ⅱ期（中田工区）については、軟弱地盤対策や道路盛土工事などを施工し、Ⅲ期（佐沼工区）については、道路本体や迫川等に架かる橋梁の設計、用地買収に向けた測量や用地説明会を行っております。



Ⅱ期（中田工区）の進捗状況



Ⅱ期（中田工区）については、国道346号に近い起点側で道路改良工事を新たに着手しました。この部分はⅢ期（佐沼工区）に接続され、市街地に架かる橋梁工事など、技術的に難しい工事であるため、道路工事を多く施工している宮城県道路公社に工事の施工を委託しました。それ以外の区間では道路盛土工事を施工しております。左の写真は終点側の盛土状況です。平成29年度の完成を目指し事業の進捗を図ってまいります。

Ⅲ期（佐沼工区）の進捗状況

Ⅲ期（佐沼工区）については、市内迫町北方方舟橋付近から国道346号までの区間で、道路及び橋梁設計を進めており、計画が決定した部分から用地買収に関する説明会を開催しております。今後は関係地権者の方々より御理解を得ながら、来年1月から用地買収を進めてまいります。

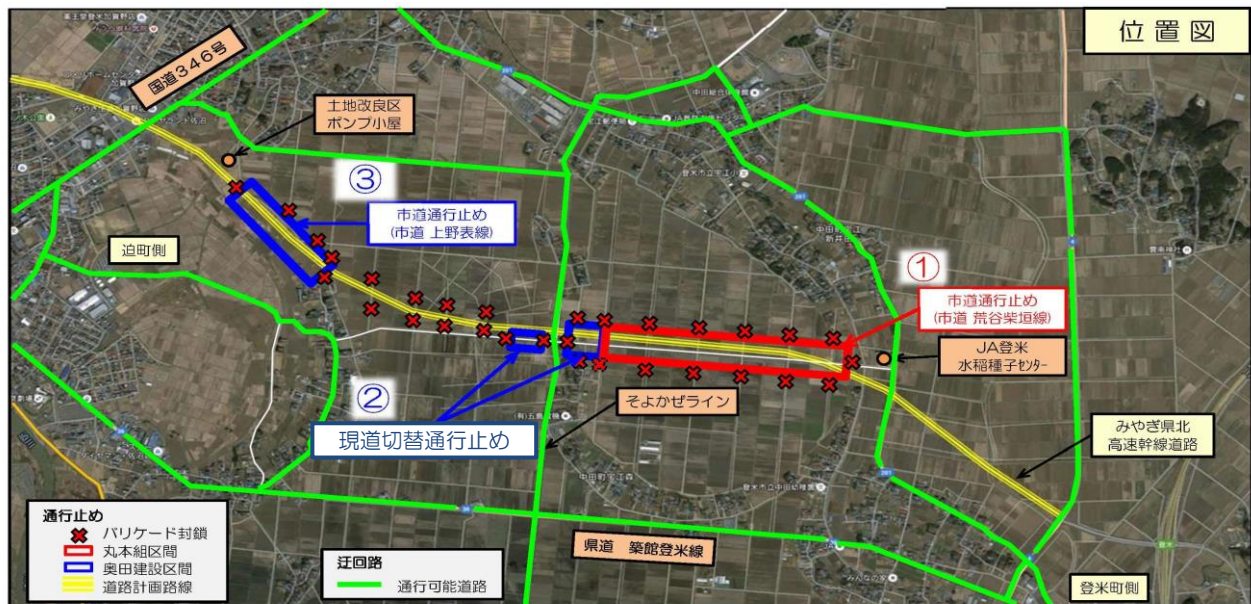
また、国道346号付近では工事の施工に必要な仮設道路設置の準備を進めております。



工事現場の現況写真



通行止めのお知らせ



- みやぎ県北高速幹線道路Ⅱ期（中田工区）の盛土工事の施工に伴い、交差する市道や農道などの道路については、上の位置図に記載の区間について通行止めを行っております。
- ①区間は市道の通称そよかぜライン交差点部分からJA水稻種子センター付近までの区間で、通行止めの期間は平成28年9月までの予定となっております。
- ②区間は市道の通称そよかぜライン交差点部分で、通行止めの期間は平成28年1月末までの予定となっております。
- ③区間は土地改良区のポンプ小屋から赤沼地区までで、通行止めの期間は平成28年11月までの予定となっております。

工事へのご理解とご協力をお願いします。

工事の本格化に伴い、地域の皆様には何かとご迷惑やご不便をお掛けすることがあると思いますが、安全第一を心掛け工事を行いますので、工事並びに事業へのご理解とご協力をお願いいたします。

平成27年9月関東・東北豪雨における長沼ダムの効果

台風18号から変わった温帯低気圧の影響で、線状降水帯が発生したことから、各地で大雨に見舞われ、避難勧告や避難指示、避難準備情報が発令されるとともに、気象台からは、特別警報が発令されました。

この記録的な大雨により、平成26年5月に竣工した長沼ダムが初めて洪水調節を行いましたので、その効果をご紹介します。

一級河川北上川水系 迫川 長沼ダムの効果(平成27年9月9日～11日)【速報】

宮城県

○長沼ダムでは、平成27年9月9日～11日にかけて、台風18号に影響された低気圧により長期間降雨が続き、流域平均の累計雨量が164mm、最大時間雨量では23mmを記録しました。これによるダムへの最大流入量は、計画600m³/sに対し、328.17m³/sを記録しており、長沼ダムが完成して初めての洪水調節となりました。

○今回の洪水調節により5,365千m³を貯留しました。これにより、下流河川の水位上昇を軽減し、避難の判断の基準となる「はん濫危険水位」以下の水位に抑えることができました。



ダムの状況写真

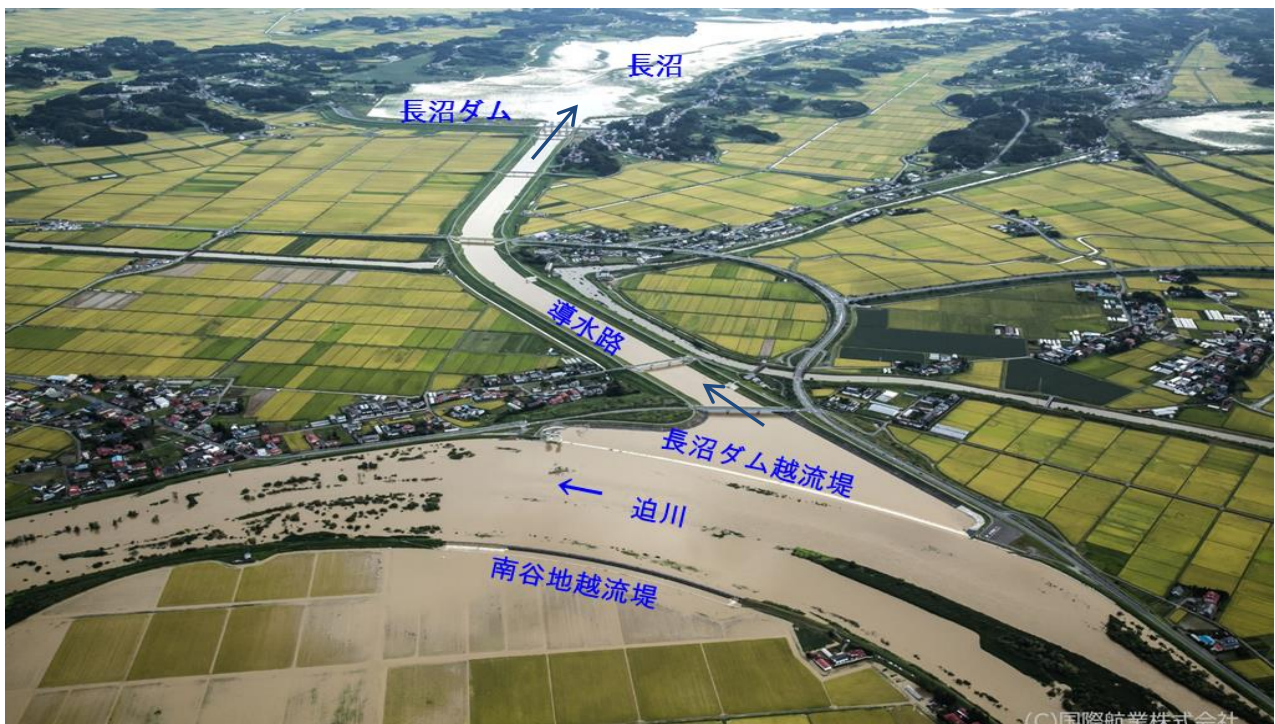
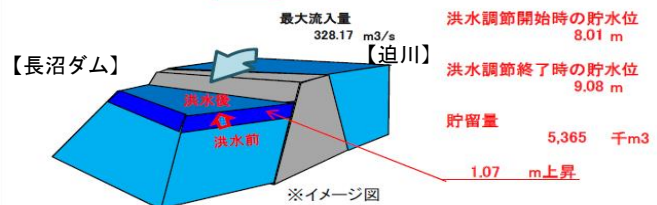


長沼ダムの洪水調節実績

・洪水調節 開始	11日 9時 50分	終了	11日 23時 30分
・ダム流域累計雨量	164 mm	(9日 15時 ~ 11日 7時)	
・最大時間雨量	23 mm	(11日 0時 ~ 11日 1時)	
・ダムへの最大流入量	328.17 m ³ /s	(11日 11時 50分)	
・ダムによる最大調節量	328.17 m ³ /s	(迫川佐沼地点流量の40.0%)	

長沼ダムによる調節量

最大流入時に、迫川流量の 40.0% をダムに貯留しました。



一級河川北上川水系 迫川 長沼ダムの効果(平成27年9月9日~11日)【速報】

宮城県

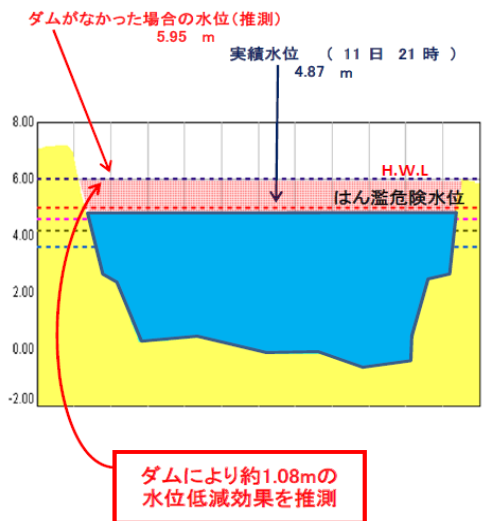
○長沼ダムの下流河川の水位上昇の軽減について、下流河川である迫川の佐沼地点では、**水位を約1.08m低減させる効果**があったものと推測されます。長沼ダムの洪水調節によって下流の佐沼地点で**避難の判断の基準となる「はん濫危険水位」以下に水位を抑える**ことができました。

○長沼ダムの下流河川の水位上昇の軽減により、下流の**排水調整の時間が約4.5時間が短縮**しました。内水の排水を行う排水機(ポンプ)の稼働時間を制限する排水調整の時間短縮により**内水の排除に寄与した**と推測されます。

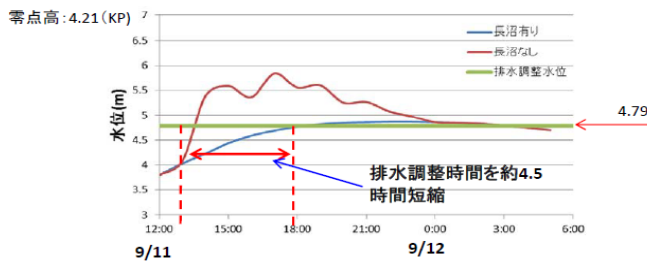
下流河川の状況写真(洪水調節後)



迫川(佐沼地点)の水位低減効果



迫川(佐沼地点)の排水調整時間の短縮



長沼ダム越流堤の洪水調節状況

- 洪水調節開始
11日 9時50分
- 洪水調節終了
11日23時30分

洪水時の迫川錦橋の状況

- 迫川の最高水位
11日22時
4.87m
- 長沼ダムに流入し
はん濫危険水位
5.00mには
達しませんでした。

注意：上記は、水位計の読値です。Kp高さは、水位計の零点高4.21mを加算します。



写真提供：仙北タイムス

長沼ダム利活用会議を開催しました

長沼ダムは、平成26年度から運用を開始したことから、建設時に培われた地域活性化に関連する取り組みを継承しつつ、ダム運用開始に合わせた新たな地域活性化を推進するため、長沼ダムに関係する地域の代表や行政が一堂に会して、情報の共有や新たな取り組み、問題の解決などを話し合う場として長沼ダム利活用会議を開催しました。

- 1 日時 平成27年11月27日（金） 午後1時30分から
- 2 場所 宮城県登米合同庁舎 2階 203会議室
- 3 委員 長沼漁業協同組合、スマイルサポーター、登米市観光物産協会
元長沼ダム地権者会、NPO伊豆沼・長沼水環境ネットワーク
宮城県長沼ボート場、迫川沿岸土地改良区、登米市関係各課
ネーミングライツスポンサー、長沼ダム管理事務所の各代表者
- 4 内容 (1) 長沼ダム利活用会議設置要綱（案）について
(2) 貯水池運用実績について
(3) ダム周辺の除草及び支障木伐採について
(4) 水質調査結果について
(5) スマイルサポーターについて
(6) イベント及びレクリエーションの実績について

県からは、9月の関東・東北豪雨における長沼ダムの効果や除草及び支障木伐採などの管理状況、水質調査結果などについて情報提供を行うとともに、登米市観光物産協会からは、平成28年度に開催される「東北風土マラソン&フェスティバル2016」（4月23日・24日開催）について、情報提供と関係者に対し協力依頼がありました。これらについて、東北風土マラソン開催における駐車場の不足の問題、地域貢献を望む企業へのスマイルサポーターの勧誘、漕艇場のさらなる活用と宿泊施設の確保など活発な意見が交わされました。

5 開催状況



6 今後の開催予定

平成28年度は、2回の開催を予定しており、1回目は5月頃開催することとしております。



スマイルサポーター意見交換会について



登米地域で県が管理する河川や道路の美化活動に取り組んでいただいているスマイルサポーター団体の皆様の意見交換会を開催しました。

(開催日・会場) 平成27年12月4日(金) 宮城県登米合同庁舎
(参加団体) 7団体(リバー3団体, ロード5団体 うち重複1団体)

意見交換では、各団体の皆様から活動に際しての工夫や困っていること、活動の中で気づいたことなどについて、有意義なお話をいただきました。その内容の一部をご紹介します。

活動の工夫 ～楽しみながら～

- 以前は少人数での活動だったが、地域の老人会にも声をかけ、他の地域活動とも合わせて年に数回、無理なく楽しみながら実施している。積極的に声をかけることで参加者が増えてきた。
- インターネット上のソーシャルネットワーキングサイトを利用し活動の情報発信を行っている。各地で同じように活動している方々とつながることができ、活動の励みにもなる。

ゴミのポイ捨てなど

- 蕪栗沼周辺で活動しており、冬場は渡り鳥の撮影などのため訪れる人も多いが、ごみのポイ捨ては少ない。
- 他市の指定袋に入れられた家庭ごみなどが、道路の路肩に繰り返し投棄され困っている。
- 草が茂っているところにはごみを捨てやすいのか、よく捨てられている。きちんと除草清掃した場所はきれいに保たれている。

安全対策 ～活動中の事故を防ぐために～

- 除草作業をする際、日中は交通量が多く車に石が飛んだりする恐れがあるため、なるべく早朝の時間帯に実施している。
- 河川敷の除草作業の際、ハチの巣が草の陰などの見えないところにあって危険であるため、作業中は殺虫剤を常備している。

現在、登米地域ではリバーのスマイルサポーターが18団体、ロードのスマイルサポーターが42団体、計60団体が活動してくださっています。県では、この活動の輪がますます広がっていくように、今後もこうした意見交換の場の設定やPRなど、できる支援を続けていきたいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。



道の駅「三滝堂」が新たに登録されました

東北地方整備局資料抜粋

今回の登録により、全国の「道の駅」は1,079駅、東北では147駅となります。

- ◆路線名：一般国道45号 三陸縦貫自動車道
- ◆所在地：宮城県登米市東和町米谷字福平191-1
- ◆面積および施設等
 - ・面積：20,000㎡
 - ・施設：駐車場81台、トイレ39器、地域振興施設（物産販売部門・レストラン部門・テナント部門、ドックラン、EV充電器、多目的広場、緑地帯）、道路情報提供施設
- ◆オープン予定：H28年度
- ◆特徴
 - ・内陸・三陸沿岸地域のゲートウェイであり地域の観光総合窓口としての役割のほか、震災伝承の情報発信拠点として位置づけ
 - ・登米ブランドをはじめとした特産品や農産物の販売を通じた地域振興
 - ・三陸沿岸道路の休憩施設であるが、緊急時には防災拠点として近隣住民やドライバーの安全を確保
 - ・三陸縦貫自動車道の（仮）登米PAインターチェンジ内に建設され、一般国道398号からの利用も可能

位置図



イメージパース



平面図



問い合わせ先
登米市建設部土木管理課
電話：0220-34-2365

平成27年度 蕪栗沼環境管理会を開催しました

この会は、動植物の貴重な生息空間でラムサール条約指定湿地でもある蕪栗沼と周辺遊水地（白鳥、四分区、沼崎、野谷地）の施設管理や環境保全上必要な事項について協議・検討するため、土地改良区代表者、NPO法人代表者、環境省東北環境事務所及び関係市の事業担当者などを委員とし平成12年に発足した組織です。

■開催日時及び場所

開催日時 平成27年12月14日 13:30から
開催場所 大崎市田尻総合支所 第1会議室

■議題

- (1) 平成27年度の河川維持管理状況について（土木事務所）
 - ・遊水地内の維持修繕業務について
 - ・9.11低気圧に伴う洪水調節について
 - ・小山田川堆積土砂撤去工事の計画について
- (2) 平成27年度の環境調査結果について（蕪栗ぬまっこくらぶ）
 - ・蕪栗沼の水質、動植物生息状況の環境調査結果報告
- (3) 「蕪栗沼・周辺水田」の湿地環境の維持（大崎市）
 - ・湿地環境の維持を目的とした野火・伐木の実施

■議事（意見交換内容）

- 排水路は経年劣化や破損が見られるので直してほしい。
- 排水機場のポンプ能力が低下している、経年劣化も著しく早急に改築してほしい。
- 支障木伐採や堆積土砂撤去を行い、越流頻度を低減させてほしい。
- 野火や支障木伐採実施後における、陸地化抑制に対する影響についてモニタリングが必要ではないか。
等活発な意見が寄せられました。

■開催状況



編集後記

本号は、復興支援道路に位置づけられた「みやぎ県北高速幹線道路」の進捗状況や、工事に伴う通行止めのお知らせを掲載しております。

また、平成27年9月関東・東北豪雨における長沼ダムの効果や長沼ダムの利活用会議、スマイルサポーター意見交換会、蕪栗沼環境管理会の開催状況なども紹介しております。

今後もこの登米地域だよりを通して、事業概要など様々な情報をお伝えしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

平成27年度
宮城県土木部ロゴマーク



宮城県東部土木事務所登米地域事務所

〒987-0511

登米市迫町佐沼字西佐沼150-5

TEL: 0220-22-7533

FAX: 0220-22-7534

事務所ホームページ

<http://www.pref.miyagi.jp/et-tmdbk/>

事務所代表メールアドレス

et-tmdbk@pref.miyagi.jp